

2023 明治安田生命 J3 リーグ 第 5 節 vs.FC 琉球

4/1 (土) 15:00 kick off @岐阜メモリアルセンター長良川競技場



2023 J3 順位表 第 4 節

勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の戦績 (岐阜から見て)

1	松本	8p	+5	7	2	H△
2	今治	8p	+2	5	3	
3	岩手	7p	+6	10	4	
4	鳥取	7p	+2	10	8	
5	富山	7p	+1	9	8	
6	鹿児島	7p	+1	5	4	HO
	琉球	7p	+1	5	4	
8	八戸	7p	+1	3	2	A●
9	讃岐	7p	-1	4	5	
10	愛媛	7p	-2	7	9	
11	奈良	5p	+1	6	5	
12	岐阜	5p	0	3	3	---
13	長野	5p	-1	6	7	
14	北九州	4p	+1	6	5	A△
15	沼津	4p	-1	3	4	
16	宮崎	4p	-2	2	4	
17	相模原	3p	-2	5	7	
18	福島	3p	-2	2	4	
19	FC大阪	3p	-4	3	7	
20	YS横浜	1p	-6	4	10	

次回HomeGame

第 7 節 vs.FC大阪

4/16 (日) 14:00

@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

大酒場 ホームラン

名鉄岐阜駅前 (三菱UFJ銀行隣り)
年中無休 午後 3 時から営業

TEL.058-263-5201

「いらっしゃいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩 3 分。
休:月曜日

今日もここから
串かつ一杯

煮込み 珍道中
串かつ

14:30 ~ 22:00

※売り切れ次第、終了です
火、水、金、土 (祝日除く) 営業

TEL. 058-252-1580

忠節橋
通り

JR 岐阜駅
北口より
北西方面へ
徒歩約 10 分

★

アミカ

ドミー
イン

JR
岐阜駅

today's guest : FC琉球

2022 J2 8勝13分21敗 勝ち点37:21位

直近の対決と結果

2019/08/31
J2 - 30節@タビスタ

琉球 1-2 岐阜

川西翔太x2 scored.

ここ 3 試合の公式戦の結果

FC岐阜	FC琉球
2023/03/26 J3 - 4 節@プラスタ 八戸 1-0 岐阜	2023/03/26 J3 - 4 節@タビスタ 琉球 0-1 福島
2023/03/18 J3 - 3 節@長良川 岐阜 1-0 鹿児島	2023/03/19 J3 - 3 節@里山S 今治 2-2 琉球
2023/03/12 J3 - 2 節@長良川 岐阜 1-1 松本	2023/03/11 J3 - 2 節@タビスタ 琉球 2-1 岩手

●2023 年シーズンを開幕から 2 引き分けで迎えた、3/18 (土) 第 3 節・ホーム鹿児島戦。鹿児島がやや優勢のまま前半を終えるが、後半 52 分に # 8 窪田稜の豪快なシュートが決まって先制した岐阜は、その後の鹿児島島の猛攻を耐え切って、1-0。今季初勝利を手に入れた。これで連勝と勢いづきたい岐阜だったが、続く 3/26 (日) 第 4 節・アウェイ八戸戦では、前節とは逆に優位に試合を運んでいたものの、隙を突かれて失点。その後もボールは支配するが、なかなか決定機にまでは至れず、八戸の固い守備を崩すことが出来ずに 0-1。今季初の敗戦となってしまった。

この 2 試合の結果、FC 岐阜の戦績は 1 勝 2 分 1 敗・3 得点 3 失点で、順位は 12 位。まだ全 38 節中の 4 節だけなので、それほど順位にこだわる必要はない。また、対戦相手の組み合わせの関係もあると思われるが、4 節を経過した時点で、4 連勝どころか 3 勝しているチームもゼロという状況は、今季の J3 の大混戦を予感させる。首位・松本との勝点差も 3 と、まだ 1 試合で手が届く位置にいる段階なので、この段階で少しでも上の順位にたどり着いておけば、今後のリーグ戦も精神的に若干楽に戦うことができるだろう。特に、現在の岐阜は、J3 リーグで得点数が少なく、また失点数も少ないチームという評価にある。だからこそ、ほんの少しのプレーの質の差が、試合結果を、そして順位を変えてしまう差になってしまう。そんなことを、この 2 試合で我々は改めて経験したのではないだろうか。また一方で、この 4 試合を通して、選手たちが最後まで走り続け、戦い続ける姿勢は更に鮮明になってきた。この、選手たちの熱い気持ちが伝わるサッカーで、勝利という結果も手に入れば言うことは無い。特に、ホーム戦での勝利ならば尚更だ。今節は、勝利という結果にも、十分こだわって欲しい。

さて、今節の対戦相手は FC 琉球。2018 年に J3 優勝・J2 昇格を達成し、2019 年から 4 シーズンを J2 で戦っていたが、昨季 J3 に降格。今季は、昨季のヘッドコーチで一時は暫定監督も務めた倉貫一毅氏が正式に監督に就任して、選手もスタッフも大幅に刷新。選手層の若返りを図りつつ、1 年での J2 復帰を目指しているチームだ。開幕から 2 連勝して一気に連勝街道をひた走るかと思われたが、今治に引き分け、福島に敗れ、現在は 2 勝 1 分 1 敗で 6 位。特に、前節での敗戦で危機感が急増しているのは岐阜以上のことと思われる。お互いに負けられない、気持ちが激しくぶつかり合う試合になることだろう。

琉球の要注意選手には、現在 2 得点の # 9 野田隆之介を挙げる。この大型 FW に仕事をさせないことが、まずは岐阜の守備陣には求められるが、その前のボールの出所を断つことの方が、更に重要かもしれない。その意味では、かつて岐阜にも在籍した (2017 ~ 2018 年) # 2 福村貴幸からのロングボールにも警戒したい。また、出場するか不明の部分もあるが、J1 でも活躍して今季新加入した # 44 金崎夢生や、昨季のアキレス腱断裂から復帰しつつある # 16 阿部拓馬といった、ベテラン攻撃陣の存在も見逃せない。

琉球との対戦成績は、JFL 時代 (2007 年) に 2 勝 2 得点、J2 時代 (2019 年) にも 2 勝 4 得点 2 失点と、岐阜が 4 連勝している。しかし、これらは過去の記録。現時点では琉球が J2 降格組であり、岐阜は挑戦者としての立場で勝利を目指さなくてはならないだろう。

先述したように、わずかなプレーの質の違いが、勝敗を決めるような厳しい試合が予想される。そうであるならば、僕ら FC 岐阜サポーターは、やはりホームの利を活かして、岐阜の選手たちが最後まで足を踏み出すことのできるような声援と拍手で、その背中を押し続け、鼓舞しよう。ゲーフラを掲げ、旗やタオマフを振ってスタジアムを緑に染めて、選手と共に戦おう。最後までひたむきに走り続け、勝利を目指す岐阜の選手たちの姿に、僕らの方も励まされながら、ホームの相乗効果で勝利を掴み取ろう。そして、勝利の歓喜を選手たちと分かち合い、ともに“勝利の HYPER CHANT” を歌おう。(ささたく)

投稿募集 !! gidaidohri@gmail.com

【第3節】 岐阜 1-0 鹿児島

●強敵鹿児島に勝利!! 前半は鹿児島の左サイドの山本と薩川の連動などで良いクロスが上げられるなど、対応に苦慮していた場面が多く見受けられた。後半から右サイドバックを羽田一平から、今週横浜FCから育成型期限付き移籍で加入したばかりの杉田隼にスイッチ。ずいぶん思い切った采配だと思っただけだが、この交代が効果テキメン! 決してフィジカルで圧倒したわけでもなく、激しいプレスという感じでもなかったのだが、山本は何もできなくなり途中交代。そしてCFで脅威的だった有田もベンチへ。

先制点のシーン。高い位置からのプレスが功を奏して鹿児島のミスを生み出し、ペナ角から思い切った窪田のゴラッソ!! 今シーズンはここまで足を止めずに90分しっかり守れていることが多いこともあって、そのまま1-0で終了。まさかウノゼロで勝ち切るサッカーができるとは。

北九州、松本、鹿児島と続いた3試合で、1勝2分けの勝ち点5はいい意味での予想外であった。ケガ人もチラホラいるようで、万全の体制とまではいかないかもしれないが、このいい流れを持續できていければと。(岐阜の誇り)

●ホーム開幕戦で入場者数6,733名。もちろん開幕戦だし、相手は(少しは数が減ったとはいえ)松本だったけれど、今節も観客が……あれれ、僕の予想よりもお客さんが少ないぞ? うーん、年度末なのと、土曜日なのと、あとは(試合前が)雨予報だったのが、こんなに影響するのか……と。まあ3,000名はなんとか超えたので、一安心。

さて試合の序盤は、ほぼ互角……いや、やや鹿児島が優位に試合を運んでいたと思う。岐阜は、中盤で選手たちが連動して動いてボールを奪取し、隙を見つけては縦に鋭いボールを入れるんだけど、いかんせん、そのボールが前線の選手に繋がらず、再び鹿児島にボールが渡り……という、もどかしい時間が続く。あと、たぶん#45チャーが1トップで#11藤岡がインサイドハーフなんだと思うんだけど、どうもその役割分担というか、タテの関係じゃなくてヨコの関係あるいは位置がカブっていることが多くて、どっちが1トップなのか分からない(そういう戦術?) ような動きで(苦笑)。まだ戦術等が整理されていない、あるいは戦術理解が深まっていないような、そんな感じを僕は受けた。そして、時間が経つにつれ、鹿児島は左右のサイドを使った攻撃で岐阜の守備陣を崩しにかかる。特に岐阜の左サイドを重点的に攻め、そちらに重心がかかってきたと見ると、逆サイドの空いたスペースから攻め上がる。これを何とか岐阜の選手たちが身体を張って耐え凌いで、前半が終了。

さて、どのような修正を……と、後半最初から加入したばかりの#2杉田隼を投入ですと!? そりゃJ1・横浜FCのトップ昇格選手ですけど、まだ19歳、そしてチームに合流したばかりで……と思った僕の不安は、彼の最初のプレーで吹き飛びましたね(苦笑)。いや、上手いわ。それまで好き勝手に鹿児島が選手が、急に大人しくなり、ほぼ何も出来なくなるってんだから、いやあ、こんな選手が試合に出られないJ1ってトコは、きっと天外魔境に違いない(笑)。そして、ハーフタイムに怒られたのか(苦笑)、前線でのボールチェイスに連動性が生まれてきた岐阜の攻撃陣、それが結果になったのが後半52分。#14生地慶充がPA付近で相手に詰めて、こぼれたボールを#8窪田稜が左足一閃のミドルがズドン! いやー、ゴラッソでした…んでも、あれれ? #8窪田きゅんって、利き足は右足だったよね? 松本でのゴールも左足だったし、今年は大ブレイクの予感? (笑) その後、#11藤岡の惜しいシュートも。あれは弾いた鹿児島のGK #31大内一生を誉めた方が良いのかも……って、彼も横浜FCから期限付き移籍なのね(苦笑)。

ただし、ここからは鹿児島の時間帯。ゴールを奪い返そうと、一気に攻勢を強めて岐阜のゴールに迫る。だけど、先述した

ように左右のサイドにしっかり蓋をした岐阜の守備陣は、集中して身体を張り、走って寄せ、ほとんど決定機を作らせない。鹿児島の攻撃陣の決定力不足にも助けられ、何とか無失点で試合終了! 今季初勝利! ……で、長時間耐え続け、ようやく試合終了の笛を聞き、気持ちが解放された弾みで僕の涙腺は緩んでしまったことを告白しなくてはなりません。ええ、試合後にギャン泣きしてた#48田口裕也と変わりません(笑)。この1勝で、それまでの2引き分けが“負けていない”という意味に大きく変わった。まだまだ課題は多いけれど、こういう試合をモノにすることが出来れば、チームも大きく成長できるんじゃないか、そんな希望も持ってた試合内容だった。(ささたく)

●明るくなってからも残っていた雨は、先行入場の整理が始まるまでにはすっかり上がってくれました。今季から始まった【先行入場待機列の抽選】。LINEに入らなきゃいけないというのが些か、引かかるけれど、抽選結果が余りにもデカイ数字なら並ばなくてもいいや、って感じで臨んだら、案の定、開幕戦は600番台後半。今回もタカを括ってただけで、いざ、開いてみたら『40番』。コレは屋台村を後回しにしても並ばなきゃ。でも、この番号でこんなにビックリするんだから、『1番』が当たったら、どうなっちゃうんだろ? 教えてください、1番だった方(笑)。

試合は、まともや、クボタンのシュート炸裂。今度のはゴラッソ。完全移籍に大感謝! だね。鹿児島にヒヤリとさせられた場面も多々あったけど、杉田くんにはビックリさせられた。アレで、まだ19歳。未成年。恐ろしいね、J1クラブは。こんな選手を貸し出せるんだ。今季は大きく成長していただきましょう。

まだ、3試合だけど、守備がなんとか出来てるように見えるのは嬉しい。キャプテンがあんなに駆けずり回るのを見られるなんて。隔世の感、とは言い過ぎか。

こういう最後まで楽しめる試合がこれからも続けられるとイイね。そんなに上手くは回らない、とは思うけど。開幕して2試合連続ドローからの完封勝ち。順位もいっきに14位から4位へ。暫定だけど気分が悪くはならないはずもない。次節のアウェイ・八戸戦はDAZNだけど、ここまで同様、粘り強く戦ってほしいね。それにしても、『勝利の美酒』って、いつ以来? と思ったら、昨季10/23のホーム・沼津戦だった。半年ぶりか。長かったね(苦笑)。(ぐん)

●試合前半、岐阜の4バックDFがやや左に重心を置いているのが気になってた。そのために鹿児島の左MF+左SBが「チャンスの起点」になっていた。ここをなんとかしたいなあと思ってたら、後半アタマから羽田→杉田。おやおや、横浜FCから借りてきたコをいきなりか。連携、大丈夫かな? 「申し訳ありませんでした」とアタマ下げるしかないですね。すごいねえ! J1ってのは、こんなコが育成移籍で出されるんだ。へびに睨まれたカエルみたいに鹿児島の左サイドがおとなしくなって、左MFは交代、ここを封じられてボールが出てこなくなったパワー系FWも交代。鹿児島側を『手詰まり』にすることに成功した。圧勝したわけでも快勝したわけでもないけど、こんな風に勝てるんだ……と、嬉しかったですね。なので、ぼくがMOMを選ぶなら決勝ゴールのリョウじゃなくて杉田くんです。

もちろん、攻撃面での課題はいっぱい。チャーリーと藤岡の2TOPは、もちろんそんなことはないだろうけど「アイツが合わせないなら俺も合わせねえ」みたいな感じにも見えてしまう。2人とも昨年からの選手なので、この『歯車の回りの悪さ』は気になってしまう。ま、これも小松社長や上野監督の考える『成長』過程の一環だと考えて、待つことにしましょう。(吉田鑄造)

【第4節】八戸 1-0 岐阜

●ホームで鹿児島に勝ち、さあ無敗のままアウェイ八戸戦で連勝を……と、岐阜サポなら誰もが思ったことでしょう。ええ、僕もその1人です（苦笑）。だけど、一方で八戸には、特にアウェイでは何度も苦汁を飲まされているのも事実。3月になって岐阜はかなり暖かい気候になってきたけれど、青森は未だ寒く、しかも雨。ピッチ状態もそれほど良いとは言えず、そして今季は石崎信弘監督……いかん、すべてがネガティブな要素にしか思えなくなってきました（苦笑）。

そして実際、あまり上手くいかない。岐阜の方がボールを保持しているものの、それほど決定機は生まれない。特に#45チャーと#11藤岡の、すくなくとも現在の位置での相性は相当に悪いのでは？って思うぐらいに、攻撃面での連携が見られない。あと、やっぱり#11藤岡は最前線の中央でこそ光を放つ選手なのだなあと、僕は思った。インサイドハーフは苦手なのかな？なんかストレスが溜まっているようにも見えるのが、少し心配だ。役割を入れ替えた方が良いのじゃないかしら。そうしてジリジリする展開になっていると、八戸のGKからロングキック1発で右サイドを突破され、裏抜けされた#5稲積大介に思い切りシュートを撃たれて失点……（溜息）。いや、カブってしまった#2杉田くんは反省しないといけないけれど、あの場面は他にも対応マズすぎるんじゃないかと。相手GKに完全フリーでコースを狙わせてしまったのもマズいし、DF陣が全速で戻って来てたんだから、GK#21松本は飛び出して身体でコースを塞ぐ方が良かったんじゃないのかしら、若いDFの失敗を取り返してあげる意味でも？……ま、もちろん“たられば”ですけどね（苦笑）。

これで先制した八戸は、さらにガッチリとゴールに鍵を掛ける。そして、今季初めて先制を許した岐阜は、どうにも悪い癖が出て、思い切ったプレーを選択できずに八戸のPA外でボール回しをしてしまい、いたずらに時間が過ぎてゆく。もちろん、無理して攻めれば自分たちの陣形が崩れるから再失点するリスクも上がるけれど、決定的な仕事ができるストライカーが現状ないチーム事情なのだから、思い切ってシュートを打ち、相手の陣形が崩れたところ、あるいは弾かれたボールを狙う姿勢も必要なんじゃないだろうか。雨で疲労が加速して、足が止まり始めるのも、少し早かったように思える。結局、そのまま八戸に逃げ切れ、0-1。鹿児島戦と八戸戦、表裏一体(?)の試合展開となってしまった。

風の噂では、怪我人も少なくないと効く岐阜のチーム事情。だけど、今季は(昨季に比べれば)1試合の結果だけに左右されないチーム作りを目標のひとつに掲げているのだから、負けた以上は、積極的に別の選手を試してみたいと僕は思う。それが、チーム全体としての底上げにもなると思うし、更なるチーム内競争の活性化も期待できると思う。そして、できたら負けるのはアウェイだけにさせていただいて、ホームでは勝ってください(笑)。(ささたく)

●実況ほどは惜しくもなかったな、トリプレイでTJのFKを確認した後、「FKの位置があと20センチ内側、あるいは1メートル外だったらなあ。」と思ったところで終了の笛。今季初めての敗戦は、やっぱり苦かった。今後の展望が順風満帆、前途洋々とは言えないな、と。それでも、絶望感でアタマを抱えるようなコトはなく、そもそも、ここら辺での敗戦にヤキモキするような心づもりで今季に臨んではいけないので。一進一退、3歩進んで2歩下がる……くらいの心持ち。新監督もいろいろ試行錯誤している段階だろう。(リーグ戦本番は試行錯誤の場ではない、という思いあるけどね。)今のスタメン、布陣は現状のベスト。このままで続けるとも思えない。(続けないとも限らないが。)

しかし、またしても、アウェイ八戸で負け。これで3年連続かな？鬼門というのは丑寅(北東)のことだけど、ウチにとっては北東北も鬼門に含まれるらしい。それにしても、アノ決勝点。実に鮮やかなカウンターでした。GKからのロングキッ

ク一発での失点。杉田くん、被っちゃったね、というのは酷かな？でも、余裕を持たせると、アレぐらいのフィードは普通に出来るらしいよ？今時のGKは。

それでも、チャンスは何度もあった。試合開始早々のバー直と失点後の一発。チャーリーのどちらかが決まっていたらなあ。ただ、2本目ののは、もう少しアイデアがあってもよかったかもしれない。難しいのはわかってるけどね。でも、まあ、今季で流れの中から決めることが出来たのは開幕戦だけだし、現状では先制されると追いつくのは難しいんだろうね。そういう展開をドローに持っていけるようになってくれるといいんだけど。

とはいえ、今季は『昇格』が喫緊の命題ではない。監督を始め、フロントを含めたスタッフがどんな絵を描いているのか。じっくり、拝見させていただきましょう。(ぐん)

●まあ、負けますよね。シーズン長いですし。GKからの一発フィードに抜け出されて豪快に決められて、あとは策士ノブリンにぬるぬると絞め上げられておしまい。

開幕戦からずっと感じてた「火力不足」。でも、これは今季の岐阜の宿命なのかもしれない。「火力が足りなくても試合になる」サッカー。今季はそれでいって、来季に火力を足す算段なのかもしれない。実際、勝った試合も負けた試合も1点差。「試合にはなっている」。次は勝ちましょう。それでよいのです。(吉田铸造)